

Rocal Republic Award2018 受賞のご報告 小山工業高等専門学校 永峰麻衣子

この数年間、調査研究で関わってきました栃木県内の2つのプロジェクトが、Rocal Republic Award(審査委員長・建築家山本理顕氏)の最終選考7作品に選ばれ、最優秀賞、入選を受賞致しましたのでご報告致します

(Rocal Republic Award は、次世代の住宅、エコシステム、地域経済、農業など「新たな住み方」の提案を全国から広く公募した賞です:<https://localrepublic.jp/>)

最優秀賞「鹿沼の路地からはじまる小さな経済」風間教司(日光珈琲)、渡辺貴明(建築設計室わたなべ)、永峰麻衣子(小山工業高等専門学校)

伝統祭り文化が継承される鹿沼で、空き家再生が広がっているプロジェクト

入選「吉田村プロジェクト」伊澤敦彦(伊澤いちご園)、慶野正司(アトリエ慶野正司)、永峰麻衣子(小山工業高等専門学校)

大谷石蔵の活用をテーマに周辺エリアの地域再生を試みるプロジェクト

地域の方々の活動に参加させて頂き、研究室の学生たちと地域の抱える問題に直接関わってきました、さらにその活動がこのような賞を頂くことができました

審査において審査員の一人ジョン・ムーア氏による「7世代先までかんがえて、まちづくりを進めて下さい」との言葉には大きな意味を感じました

今後も、地域の空間的魅力を伝えるプロジェクトを継続していきたいと考えております